

港区派遣型一時保育・育児支援家庭訪問 あい・ぽーと子育てサポート事業

利用会員の皆様へ カバイ通信 第30号

「カバイ」とは、ニュージーランドのマオリ語で「ありがとう」という意味です。この事業は、ニュージーランドのプレイセンターの活動に学ぶ面もあって、マオリ語を用いています。

2013年11月15日
特定非営利活動法人あい・ぽーとステーション発行
代表理事：大日向 雅美
住所：〒107-0062
東京都港区南青山 2-25-1
電話：03-5785-1577
FAX：03-5786-3264

「カバイ通信」は、2月・5月・8月・11月との15日に発行します。
ホームページから、ご覧になれます。http://www.ai-port.jp/



～利用会員より～

月曜日の朝夕に利用しています。幼児3人の育児と仕事で余裕のない毎日ですが、月曜日だけは仕事にもゆとりをもって出かけることが出来、夜は夫と二人の時間を楽しんでいます。子ども達も週1回の支援者さんの日を楽しみにしています。
(鮫島さんより)

姉弟で乳児の頃からお世話になっています。早朝から夜までフレキシブルに対応して頂いてますし、子ども達も支援者さんが大好きなので、安心して家を空けられます。献身的な支援に、本当に感謝しています。
(山本さんより)

～支援会員より～

もうすぐ3歳になる男の子3人を支援中。児童館や公園で思いっきり遊んだあとの『ありがとう』『またね!』の一言は心にしみみます。3人のお母様方は全員今年第2子を出産し、その喜びを共にさせていただきました。支援活動によって自身の生活がより豊かになったことに感謝しています。
(栗田さんより)

こんにちは!と玄関でご挨拶すると、「小林さんだ」とはすんだ声と笑顔で出迎えて下さる。とても幸せを感じます。子育てに忙しいお母様に、少しでもゆとりが持てる様なサポートをさせていただきたいと、日々思っています。
(小林さんより)

派遣型支援会員(2級認定者)とは?

NPO法人あい・ぽーとステーションの講座を受講され、子育て・家族支援者として認定された方々です。子育てや仕事等の豊かな人生経験をお持ちで、講座で学んだ保育や子育て支援の知識と技術を活かして、地域の子育て家庭の役に立ちたいというお気持ちで活動をされています。

この活動は、「支え・支えられてお互い様」の地域が創られることを願っての企画です。利用者の皆様もどうか子育て・家族支援者のお力を信じ、その熱い志に感謝の思いで受け止めていただければと思います。

病後児保育に関するお願い

寒さがぐっと厳しくなり、インフルエンザなどの流行や嘔吐下痢など、さまざまな感染症に注意が必要です。病後児保育をご利用の場合は、「会員のしおり」(p24~25)にあるように、「港区病後児保育派遣利用連絡票」の届けが必要となります。また、実際に病後児保育を利用しなかった場合でも、医師に「港区病後児保育派遣利用連絡票」の記入を依頼された場合、お手数ですが事務局までご連絡ください。

尚、感染拡大を防ぐ観点から、利用会員の皆様には下記の点についてご協力願います。

○病状が不安定(高熱など)または感染の恐れがある場合のご利用はご遠慮ください。

○会員様ご本人の急病時に保育を依頼される場合は、お子様の状態を十分に確認され、保育場所を御自宅内の別室に設けるなど、感染拡大防止にご協力願います。

○支援会員様本人もしくはそのご家族が感染症に罹患した場合、医師の診断に基づき1週間前後支援をお休みいただきます。利用会員様へはその都度御連絡いたします。ご了解ください。

○その他、支援を依頼される際は、事前にお子様(ご家族)の体調を把握され、何か気になることがあれば事務局に事前にお伝えください。以上よろしくお願いたします。

※「カバイ」通信は、8月、11月、2月、5月の15日に発行しますので、ホームページからご覧下さい。(http://www.ai-port.jp/)尚、ご覧頂けない場合は、FAX又はご郵送いたしますので、お手数ですがお電話にて事務局までお知らせ下さい。

港区サポート事業室主任：松野下
担当：松本・影山・宇都